

(3) 住所・市区町村コード変更確認リスト項目修正

住所・市区町村コード変更確認リストイメージ

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
お客様番号	給与会社番号	氏名	区分	支給年月日	処理種別	処理種別分類	社員番号	市区町村コード_現在 (予測値1)	市区町村名 (予測値1)	市区町村コード_現在 (予測値2)	市区町村名 (予測値2)
A	B	C	D	E	F	G	H	P	①	②	
A012	001	神戸 太郎	PAY001				000001	281107	チホク		
A012	001	川崎 次郎	PAY001				000002	141364	ミヤマ		
A012	001	神奈 三郎	PAY001				000003	141178	アホク		
A012	001	奈良 四郎	PAY001				000004	292010	チホクチホクジヨウ	292010	チホクチホクジヨウ

《修正手順》

- ②に値が入っている項目の社員の情報を確認し、①と②の市区町村コードの値を比較し、どちらの値で登録すべきかを確認します。



更新対象者について

本帳票は最新結果人事に存在する社員が対象者のため、帳票には退職者も出力されます。退職年月日等の値を確認し、更新対象者か判断をお願いします。

- 社員情報に登録する市区町村コードを①に記載します。

取込を実施する際は「市区町村コード_現在 (予測値 1)」の値が「市区町村コード」として登録されます。

※非居住者など給与支払報告書の eLTAX データを作成しない場合には、「市区町村コード_現在 (予測値 1)」に「999999」と登録してください (P119 ⑧市区町村 (現在) 参照)。



市区町村コードについて

複数町域に跨って同じ郵便番号が重複して割り当てられているケースがあり、郵便番号から予測される市区町村コードが複数存在する場合は、「市区町村コード_現在 (予測値 1)」 「市区町村コード_現在 (予測値 2)」として帳票に出力しており、どちらの値を設定するか選択が必要になります。



政令指定都市について

政令指定都市の場合、市内の特定の区で登録しても、給与支払報告書の eLTAX データ作成時に、一律で「市」の市町村コードに更新されます。

2) 外部取込に対する設定

下記の設定項目の値を登録してください。

設定方法の詳細は「II. 8. 2) (3) 取込ファイル設定登録」を参照してください。

《設定項目》

No.	画面項目名	内容
1	取込ファイル定義 ID	PAY001_給与基本情報
2	取込方法	更新追加
3	ファイル形式	Excel ファイル
4	ヘッダ	ヘッダ 有
5	読込開始位置	2 行目

3) 住所・市区町村コード変更確認リスト取り込み手順

「II. 12. 2) 外部取込に対する設定」にて登録した値を使用して取込を実施してください。

詳細は「II. 8. 3) ファイル取込指示」を参照してください。

※住所・市区町村コード変更確認リストの取込では、市区町村コード(現在)の値のみ更新されません。

氏名等の他の情報は更新されません。